

令和4年度事業報告

令和4年度の請負などの受注件数は2,302件と前年比128件増加し、契約金額も12,189万4千円で前年比614万3千円の増となりました。

内訳は、公共の契約金額が3,393万7千円（前年比：277万6千円の増）民間事業所の契約金額が6,313万8千円（前年比：292万の増）一般家庭の契約金額が2,481万9千円（前年比：44万円7千円の増）です。

県シルバー人材センター連合会小千谷市事務所が実施する派遣事業については、受注件数が6件増加し、契約金額は5,465万8千円で前年比1,527万3千円の増となりました。

会員数については年度末で382人であり、前年比4人の増となりました。内訳は、入会者が40人、退会者が36人です。

入会理由の主なものは、男性が生きがい社会参加、経済的理由、時間的余裕、健康維持・増進、の順に多く、女性が時間的余裕、生きがい社会参加、健康維持・増進、仲間作りの順となっています。退会理由の主なものは、男性が加齢、病気（本人）、死亡、の順に多く、女性は就職、病気（本人）、加齢の事情の順となっています。

会員の平均年齢は全体が73.5歳（前年度73.3歳）であり、男性は73.8歳（前年度73.6歳）、女性は73.0歳（年度72.7歳）で依然と男性の年齢が高くなってきています。

また、請負と派遣を合わせた会員の就業率（年度内就業者数÷年度末会員数）は、派遣事業の伸びもあり、99.7%になっています。

受託業務について

令和4年度の事業運営は、受注件数、契約金額ともに前年度を上回りました。

受注件数については、前年比で一般家庭107%、公共117%、民間102%で、契約金額では一般家庭102%、公共109%、民間105%となっています。これは、コロナに係る制限が緩和しつつある中、社会経済を回復する動きが強く影響していると思われます。また、事業運営については、コロナの影響が少なかった令和元年の数値をひとつの目標としていましたが、比較をすると、受注件数で一般家庭109%、公共120%、民間79%、契約金額では一般家庭106%、公共128%、民間92%となっており、契約金額比率で常に区分全体の50%以上を占めている民間の受注がここに来てようやくコロナ前の水準まで近づいてきている状況です。

そのような中、コロナ禍に係る新規の就業形態であった小中学校校舎の除菌作業はマスク着用等の制限緩和に伴い令和4年度をもって終了となりましたが、お墓清掃をはじめとした遠隔地からの施設管理の受注など、依然として続いている形態もあるところです。除雪関連では、今冬一時的に積雪量が増えたこともありましたが、期間を通しての降雪量は昨年を下回り、融雪時期も早かったことから就業日数が少なく昨年の実績を下回りました。

仕事の区分では、依然として運搬、軽作業（清掃・除草など）、サービスの作業（家庭生活支援・管理など）、農林漁業の作業（剪定・冬囲いなど）の受注が多くを占めており、生産工程の作業（障子襖はり・金属加工など）が一部派遣への切り替えに伴いコロナ前と比較して減になってはいるものの、全体としてコロナ前の水準まで近づいてき

ている状況です。

シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすい中、年度ごとに増減はあるものの市内の企業や一般家庭の皆様、公共機関等から高齢者の就業にご理解をいただき、比較的安定した発注をいただいておりますが、コロナに係る制限が緩和される中、近年の受注状況を踏まえ、社会情勢を注視しながら特に民間企業からの受注回復に努めてゆかねばなりません。

会員の拡大について

令和4年度は、4名ではありましたが入会者数が退会者数を上回りました。ひとつの目標としていた令和元年度の会員数を上回ることにはできませんでしたが、全国及び新潟県においても会員の減少が続いている中、なんとか踏ん張っている状態ではあります。目標値として会員の拡大に努めるとともに、職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっていることや、雇用・定年延長が進むことに伴い新規入会者年齢の高齢化による経験年数不足等を踏まえて、技能者の養成などに取組むと共に引き続き資質向上にも粘り強く取り組んで行く必要があります。

安全就業について

令和4年度は、傷害事故3件、賠償事故5件の計8件で、昨年と比較すると傷害事故は2件増、賠償事故は3件増となっています。

傷害事故の状況は除草作業中の受傷・ぼんぼり撤去作業中の受傷、賠償事故は機械除草作業中の飛び石と外壁への接触、冬囲い解体中のガラス破損、指示以外の樹木の伐採、雪下ろし中の投雪による小屋根の破損となっています。

事故防止策として、会員へ注意の呼びかけや仕事前の安全確認の励行などを行っていますが、体力・技量の過信や経験値による慣れなど、何気ない作業の中にも事故が潜んでいますので、現場状況の把握等、安全就業について意識をより向上させることが大切です。

シルバー派遣事業について

当センターは、県連合小千谷市事務所として平成22年度から派遣事業に取り組んでおり、国が適正就労を進める中、特に請負・委任契約と派遣契約を適正に行うよう指導が強まっています。また、不足する我が国の労働力を補うため高齢者に着目し、シルバー人材センターに派遣事業の拡大を促しています。そのような中、適正就労並びに事業拡大に努め、受注件数・契約金額とも前年度を上回りました。

派遣事業の前年度比較

項目	令和4年度	令和3年度	増減
登録会員数	205人	171人	34人
受注件数	80件	74件	6件
就業延人員	11,388人	8,544人	2,844人
契約金額	54,658千円	39,385千円	15,273千円

会員の状況、事業実績、会議行事の開催等について

(別添のとおり)